



日本一の防潮堤

田子の浦・鈴川海岸の防潮堤の高さは、18㍍～20㍍あり日本一です。

江戸時代、吉原の宿は元吉原から依田橋、現在の吉原本町通りへと所がえしましたが、いずれも高波や津波による被害を受けたためでした。

その後も、安政元年や明治32年の大津波など海岸地区の人々の生活は、高波や津波との闘いだっただといえるかもしれせん。

昭和41年9月、岳南地区を直撃した台風26号は、高波で15人の死者を出すという大災害となりました。当時の防潮堤の高さは13㍍で、以後、現在の高さにかさ上げされました。以来、高波や津波による被害はありません。



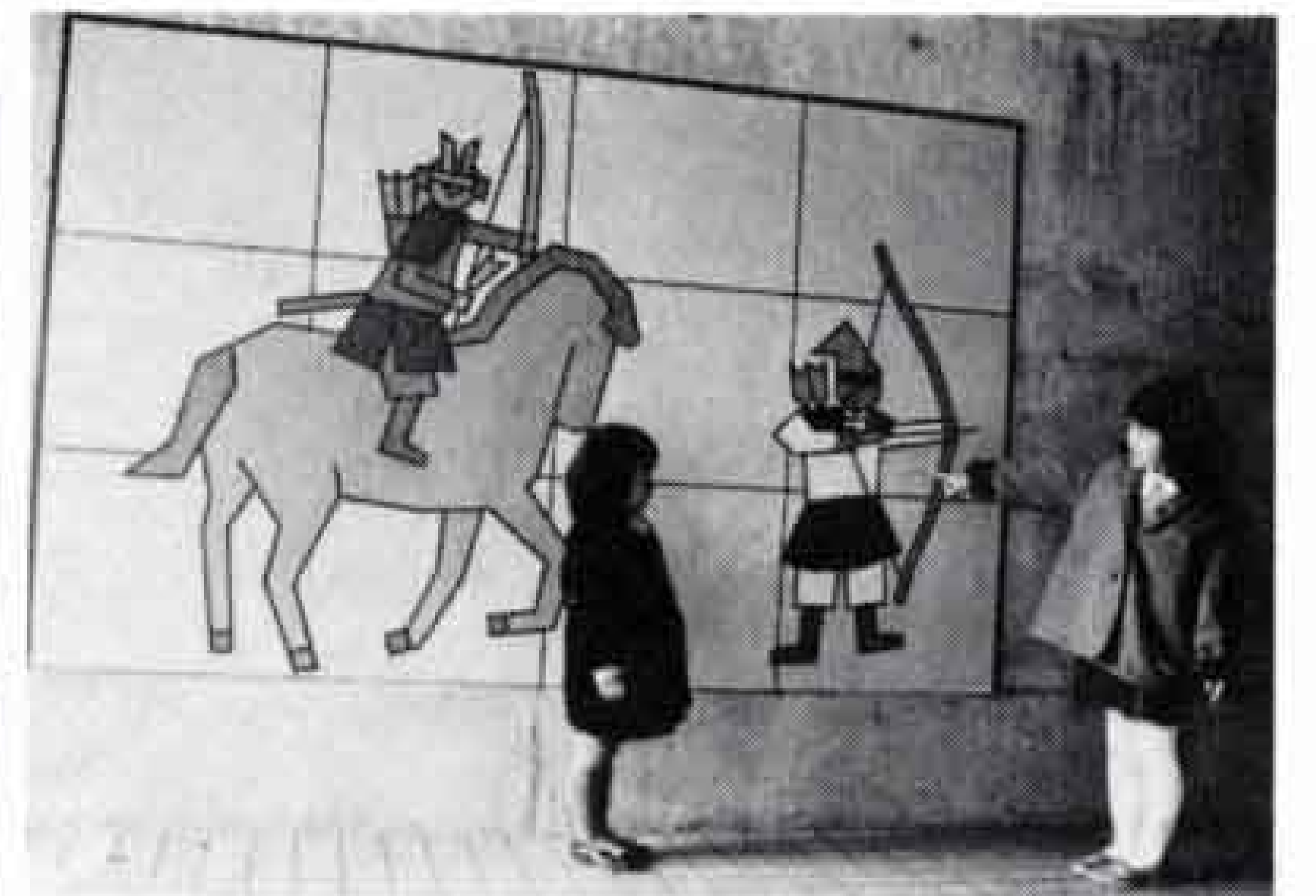
二宮千春さん(左)と高井恭子さん

明るい選挙ポスター展 県で入選

市内から百十六点の応募があった「明るい選挙ポスターコンクール」で、二宮千春さんと高井恭子さんの作品が県で入選しました。二人とも、吉原一中の二年生で美術部に所属しています。二人は「正直いって選挙といわれてもピンときませんが、明るい社会づくりにとっても大切なことだと思います」と語っていました。

昨年暮、潤井川に東名インターと新富士駅を結ぶ源平橋が開通しました。源平の富士川合戦をテーマにした橋は、個性的で道行く人の目を惹きつけています。さて、この源平橋はもう一つ見どころがあります。橋の南側に歩行者用地下道があり、ここにも富士川合戦を主題にしたタイルの壁画があります。周辺は散歩に絶好の場所。暖かい日にはぜひどうぞ。

源平橋の地下通路に タイルの壁画



新富士駅の都市施設は ステーションプラザFUJI

いよいよ来月に迫った新幹線新富士駅の開業。駅舎内に併設される都市施設は、ほかの駅には見られない素晴らしい施設となります。市はこの都市施設に愛称を募集していました。審査の結果「ステーションプラザFUJI」と命名されました。名づけ親は今泉の本田悦子さん。「とても感激です。名前は家族で話し合っ、すんなりできました。新富士駅ができたら一番に利用します」と喜びの声。



本田悦子さん



音楽仲間よろこぶ

富士コミュニティコンサート実行委員会

市内の五人の主婦が、「富士コミュニティコンサート」という会員制のクラシック音楽鑑賞会をつくりました。「よい音楽を地元で安く」と、はりきる実行委員の皆さんの会議中におじゃましました。

人の心を和ませ、豊かにする音楽。音楽を愛好する人は、年代を問わず数多くいますが、市内で一流の音楽を生演奏で聞く機会は、まだまだ多いとはいえません。そこで、「なんとかわいいものを地元で安く聞けないかしら」と普通の主婦的感覚で生まれたのが「富士コミュニティコンサート実行委員会」です。

これは、クラシック音楽を会員制で聞こうという団体で、産声をあげたばかり。年に四千円の会費で年三回、富士文化センターで一流の演奏が楽しめます。

ことしは四月にフルートの金昌国さん、七月にマリンバの安倍圭子さんのコンサートがすでに予定されています。

実行委員は市内の音楽家五人。全員が主婦で、まったくのボランティアです。発起人の茅原初子さんは「何年か後に立派な文化会館ができるそうですが、建物にぴったり



◁左から平賀かつ子さん、石川ますみさん、茅原初子さん、小笠原理津子さん、小田育子さん

の中身はすぐにはできません。一流の演奏を聞くことで、音楽を愛する風土を広げることができれば」と語ります。当面の活動は会員募集。託児室も用意するなど女性ならではの配慮もあります。問い合わせは茅原さん(☎三三―七〇七) 小笠原さん(☎三三―四〇六)へ。